

2025年6月

患者さんご家族の方へ

ノルアドレナリンと他の注射用カテコールアミン製剤の併用（禁忌）について

急性非代償性心不全や敗血性ショックの治療のために、ノルアドレナリンと他の注射用カテコールアミン製剤の併用することがあります。これら医薬品の併用は、禁忌に該当しますが、この治療は国内外において、必要な場合には併用して投与することが勧められております。本治療の実施について、各患者さんにご説明して同意をいただく代わりに、お知らせをしています。詳しくは以下をお読みください。

この治療についてご質問がありましたら、いつでも遠慮なく、担当の医師、看護師または薬剤師までお尋ねください。

対象	当院において、循環動態維持のためノルアドレナリンと他の注射用カテコールアミン製剤の併用が必要と医師が判断した方。
目的・概要	ノルアドレナリンと他の注射用カテコールアミン製剤の併用は、急性非代償性心不全や敗血性ショック時に循環動態を維持し、重症患者様の救命に繋がります。国内外の診療ガイドラインでも必要な場面での投与が推奨されています。これらの医薬品の併用は、不整脈や心停止を引き起こすおそれがあるため、併用禁忌とされていますが、これまでの知見では、併用による有害事象のリスク増加は限定的と考えられています。そのような現状を踏まえ、当院では、医師が併用を必要と判断した場合、その使用を認めます。
実施期間	2025年6月から開始します。
使用条件	投与中は心電図モニターを装着し、不整脈や心停止等の有害

	事象の兆候を早期発見、対応ができる体制で実施します。また、救急カートの物品や医薬品に速やかにアクセスできる環境で実施します。
予想される不利益	不整脈や心停止等の有害事象が生じる可能性があります。
予想される不利益への対策	使用条件を順守することで、不整脈や心停止等の有害事象の兆候が認められた際は、必要な対応を遅滞なく実施します。
治療費	この治療にかかる費用は通常の保険診療と同じです。この治療による副作用が生じた場合も保険診療になります。国の医薬品副作用被害救済制度の給付対象外となる可能性があることをご承知おき下さい。

この治療（禁忌）を行うことは、未承認新規医薬品評価室にて評価され承認されています。

◆お問い合わせ先

〒983-8512 宮城県仙台市宮城野区福室一丁目 12 番 1 号

東北医科薬科大学病院 医療安全管理部 未承認新規医薬品評価室（事務局：薬剤部） 電話番号：022-259-1221(代表)